

第7回板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画委員会でのご意見について(追加意見シート分)

参考資料

議題1 「板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2026」の骨子案について(案)

No	主なご意見	区からの回答
1	<p>○要介護1, 2認定者の数は増加(骨子案6ページ)しているにもかかわらず、介護予防サービス事業所と総合事業サービス事業所の指定(9ページ)数は変わらず。実際には、指定を受けている訪問介護事業所は支援1と2の方へのサービス依頼は受けない事業所が増えている。(ヘルパーの人材不足や単価が低いことからと思われる)また、介護予防支援事業所である地域包括支援センター数は19箇所のまま。居宅介護支援事業所に予防プランを委託しても断られることが多く、地域包括支援センターの業務負担の大きな要因になっている。</p> <p>○「介護予防に重点を」「地域包括支援センターの機能強化を」とうたわれるが、上記について触れられておらず、また対策についても具体性が見えてこない。</p>	<p>○地域包括支援センターの機能強化に関する具体的な方向性は、第2回地域包括ケアシステム検討部会の資料で示した通りです。センターの事業評価を活用したPDCAサイクルを推進することで、さらなる質の向上を目指します。また、センター間や区との役割分担や連携体制を強化するため、各種会議体・研修会等を活用し、地域包括支援ネットワークの構築に努めます。</p> <p>指定介護予防支援事業については、現在国からの詳しい指針を待っているところであり、今後は国の動向も踏まえながら、検討を進めていく方針です。</p>

議題2 「板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2023」における「板橋区版AIP」の評価と課題、方向性について

No	主なご意見	区からの回答
1	<p>○「高齢者見守り調査事業」について 目標調査率達成とあるが、数字に表しているのか。</p>	<p>○「資料2-2_板橋区版AIPと関連施策の各事業における評価と課題」P.43に第8期計画期間の実績を記載しております。 令和3年度81.3%、令和4年度84.2%であり、令和5年度は見込みとなりますが、目標の調査率80%を達成できる見込みとなっています。</p>
2	<p>○「ひとりぐらし高齢者見守り対象者名簿事業」について 新規登録者数とあるが、こちらも数字になっているのか。</p>	<p>○「資料2-2_板橋区版AIPと関連施策の各事業における評価と課題」P.44に第8期計画期間の実績を記載しております。 令和3年度273人、令和4年度265人であり、令和5年度は見込みとなりますが、目標の新規登録者数200人を達成できる見込みとなっています。</p>
3	<p>○「板橋区版AIP」について 認知度の低さが前回調査から改善されていない。「広報誌の発行(年2回)で、新聞折込等を活用している。」とあるが、やり方を再検討してはどうか。 ・場所→大手スーパーやコンビニなど。 ・派手なロゴ、わかりやすいキャッチコピーなどを使った広報のやり方など。</p>	<p>○令和5年8月発行の広報紙第14号から板橋区公式LINEでの周知を開始しました。広報紙の新たな配付機会や区民の方に伝わりやすい表現などを引き続き検討し、板橋区版AIPの認知度上昇に取り組んでいきます。</p>

議題3 第8期介護保険事業計画における介護保険施設の整備状況及び方向性について

No	主なご意見	区からの回答
1	<p>○箱物整備で完了ではないので、質の確保やスタッフ採用のサポートなどを区がリードして、介護保険施設のあるべき姿を作っていくしてほしい。</p>	<p>○事業所の方からもそのような意見をいただいています。しかしながら、民間事業所の経営に関わる部分に区がどこまで介入していくか、対象とする事業種別をどう決めるか、財源をどう確保するか等、検討すべき課題が種々あります。まずは、他自治体で参考となる事業の実施例がないか、情報収集を行ってまいります。</p>

議題4 介護人材の確保・育成・定着支援及び介護現場の負担軽減の取組と評価、課題、方向性について

No	主なご意見	区からの回答
1	○<介護人材確保・育成> 介護人材は、ある意味奪い合いになっていくのではないか。 区として、他と同様の制度ではなく、プラスアルファの制度充実を考えてもよいのではないか。 今後の高齢者福祉を考える時、介護人材の確保・育成は極めて重要なポイントになるのではないか。	○介護人材の確保・育成については、国において、令和22(2040)年には約69万人の介護人材が不足すると推計されており、当区としても、喫緊の課題であると認識しております。 地域における質の高い介護サービスを安定的に供給していくため、介護人材を量と質の両面で確保していくための取組をこれまで以上に推進してまいります。
2	○<介護現場の負担軽減> ①煩雑な書類の簡便化、ITを導入し、介護スタッフの業務の時短を図るべき。 区は、IT導入や、操作研修などの支援をしてはどうか。 ②介護助手やお散歩、買物(お出かけ支援)などで、シニア世代活動支援プロジェクトと連携し、シニアボランティアの活動を導入してはどうか。	①令和6年度内を目途に、電子申請・届出システムを導入し、事業者指定に係るオンライン申請を開始する予定です。これにより、書類作成に関わる事業者の負担軽減を図ってまいります。 ②介護助手やお散歩、買物(お出かけ支援)は、社会福祉協議会が提供している「ぬくもりサービス」やシルバー人材センターが提供している「家事・育児援助サービス」で行っており、事業が重複していることから、現時点では区として導入は考えておらず、将来的な課題としていきたいと考える。

議題6 自由意見

No	主なご意見	区からの回答
1	○認知症介護者家族交流会は、大変有意義であると思う。 家族介護は長期間にわたり、孤独になりやすい。今後も講座を含め、家族介護支援を充実させて欲しい。	○認知症介護者の方たちの負担が少しでも軽減できるよう、交流会や講座等の介護者支援に、これまで以上に取り組んでまいります。
2	○シニアボランティアの積極的な活用法として、他区で行っているが、ボランティアをする度に、スタンプを押印し、自身の介護サービスが必要となった時に、利用できるというような事業を検討してはどうか。 介護現場での人手の足りない事による利用者不満の軽減にもなるのではないかと思う。	○板橋区シニア世代活動支援プロジェクトでは、福祉施設ボランティア事業を実施しているが、新型コロナウイルスの影響で介護現場で受け入れが再開できておりません。また、今回ご提案のスタンプを管理し将来利用する仕組みは、様々な課題があり制度導入は難しいと考えています。しかし、介護現場の人手不足の解消については、社会福祉協議会やシルバー人材センターなどが参入しており、引き続き協力していきたいと考えております。